

教育委員会 新教育長の就任について

平成30年3月22日付で、これまで教育委員並びに教育委員長として教育行政にご尽力
いただいております樋田京子氏が市長の任命を受けて新教育長に就任しました。

太宰府市教育委員会だより

Vol.32

問い合わせ

社会教育課 教務係

(☎内線467)



就任のご挨拶

教育委員会 教育長

樋田 京子



この度は、教育長として本市の教育を統括することになり、その職責の重さに身が引き締まる思いです。

私は、教育は「人づくり」であると考えています。

グローバル化や情報化の進展など社会の変化が激しい中、自分の可能性を最大限に伸ばし、たくましく生きていく子どもたちを学校、家庭、地域が一体となって育てる環境づくりに努力したいと思っています。

また、生涯学習社会の実現を目指す中で、市民の皆様が主体的に学び、スポーツや文化活動を通して豊かな人生を送ることができるよう支援したいと考えています。

さらには、太宰府市には歴史遺産や市民遺産など多くの文化遺産があります。その大切な遺産を守り生かし伝えていくことは、太宰府市に愛着を感じる人づくりにつながると思います。

教育の現場は常に課題が山積していますが、それ以上に「人を育てる」という夢や希望に満ちています。

教育委員会といたしましては、子どもも大人も生き生きと学習し、共に認め合い、ここ太宰府を誇りに思いながら活躍できるように、教育環境の充実に努めてまいりたいと思います。

皆様のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

「だざいふ・ふるさと学習」に取り組んでいます

太宰府市の公立小中学校では、太宰府を愛し、誇る児童生徒の育成をめざして「だざいふ・ふるさと学習」に取り組んでいます。この学習は、①本市教育委員会が作成した「太宰府の歴史と文化を学ぶ」副読本の活用、②太宰府の歴史と文化を訪ねるフィールドワーク、③地域行事への参加・参画、といった3つの活動からなっており、「歴史とみどり豊かな文化のまち」太宰府らしい特色のある教育活動です。中学校で実施している奈良市への修学旅行（中学2年生）、昨年度から始まった多賀城市へのふるさと大使の派遣（中学3年生・生徒会代表）も「だざいふ・ふるさと学習」の一環です。また、毎年8月に開催している「英語暗唱・スピーチ大会（うめのみ杯）」の暗唱部門では、梅ヶ枝餅や大宰府政庁跡など、太宰府の歴史や文化を簡単な英語で紹介することが例年の課題となっています。



地域の餅つきに参加する児童



多賀城跡を見学するふるさと大使

自分のふるさとを愛し、誇る子どもたちを育てることは、地域社会の次代の担い手を育てることにつながります。これからも、各学校において「だざいふ・ふるさと学習」をますます充実させ、持続可能な地域基盤の形成に貢献できる子どもを育てていきたいと考えています。